

みす 水車



(財)新松戸郷土資料館館報

第8号



財団法人 新松戸郷土資料館

〒270 千葉県松戸市新松戸3-27

新松戸市民センター(三階)

電話 0473-44-1909

発行年月日 平成7年3月末日

もくじ 昭和46年5月最後の田植え 表紙
大谷口新田

方言(一)

- | | |
|----------------------|---|
| ◇元旦・七草粥..... | 2 |
| ◇藏開き・お日待・一鍬・堀汲み..... | 3 |
| ◇蘭玉・御籠・小豆粥..... | 4 |
| ◇稻の花・恵比寿講・天神講..... | 5 |
| ◇胞瘡日待・節分..... | 6 |
| ◇初午祭・大杉祭..... | 7 |
| ◇日誌抄・館利用案内・編集後記..... | 8 |

方言

(一)



方言とは、日本語大辞典によると一言語のうちで音韻、語彙、文法などの特徴によって共通語と区別される地域的言語体系、またその地域特有の珍しい語の意とあります。日本方言の区画は、本土方言と琉球方言とに分けられ、さらに本土方言は八丈・東部・西部・九州方言の四つに分けられます。東部方言はさらに東北・関東・東海東山方言の三つに細分されます。千葉県の方言は関東方言に含まれるといわれています。

その特色の一つにはペい・ペえ・ペ・べい・べえ・べなどの語があり、

この辺りでは、濁音のべい・べえ・べが使われます。松戸市の中も大きく三つに分かれます。和名ヶ谷・大橋・高塚・紙敷などの東部地区では、べえ・なあも使われますが、特色としてはじいという語が語尾につくことがあります。宿場といわれた小金と松戸は、商人の多く居る町で言語が入り混っている部分があります。

べえも使いますが、総体的には言葉

が柔かいことが特色とされます。農家がほとんどの下谷と呼ばれる大谷

口新田（新松戸）・七右衛門新田・九郎左衛門新田・主水新田などはベ

え・べい・べが使われ言語は少し荒いと思われます。昭和四十八年から始まつた区画整理事業によって新しい街として生まれ変わった大谷口新田ですが、下谷の言葉が現在でも残っています。神社などの行事ではこの言葉が使われます。区画整理以前の行事や農業を中心に、また解り易くするために会話の形式をとつて方言を残すかたちをとりました。一つの村

でも微妙に言葉や習慣の違いがありますが、比較的豊かで行事なども昔

先にな、初水、桶にくんで取つてお

け。その水で、神棚と仏壇に初水あげて、雑煮も作るだから。顔洗つたら、稻荷様、神棚、仏壇、荒神様、

七草粥を食べます。七草粥は七種類は揃わないで、青くささのない薺

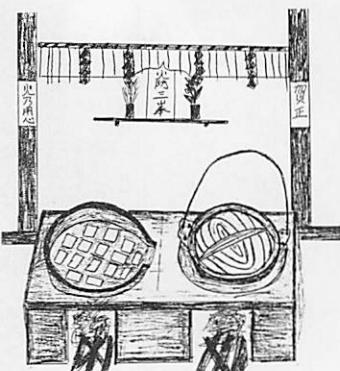
が主で下谷では、薺とお餅を入れた七草粥を食べて邪気を払いました。

女年寄「あしたは七草だんべ、な

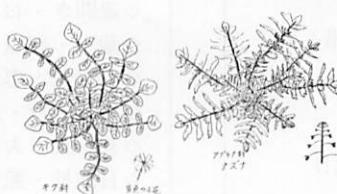
ずな採つてこお。南の畑のおいの先

で採つてきた方がよかんべえ。」

元旦



七草粥



下谷の正月の三ヶ日は、男の人が雑煮の仕度を受け持つという風習があり、今でもそれを守っている家が数軒あるそうです。その家の主が初水を汲み、神棚、仏壇、家内の稻荷様へ供えます。蔵や納屋、井戸などにも御神酒とお供えをあげて元旦の朝が始まります。その年十五歳になる長男は、お日待ち（現在の成人式に似る）を迎えるので、正月の仕度を手伝うことが決まりになっています。

ちゃんと「おめえな、起きたら一番先にな、初水、桶にくんで取つておけ。その水で、神棚と仏壇に初水あげて、雑煮も作るだから。顔洗つたら、稻荷様、神棚、仏壇、荒神様、

お正月の三ヶ日は雑煮を食べます

が、四日の日は麦飯とろろ、七日は七草粥を食べます。七草粥は七種類は揃わないで、青くささのない薺が主で下谷では、薺とお餅を入れた七草粥を食べて邪気を払いました。

女年寄「あしたは七草だんべ、な

ずな採つてこお。南の畑のおいの先で採つてきた方がよかんべえ。」

男年寄「御神酒はおれ、あげてやつから。」

ちゃん「おれは、雑煮のだし作るから、ほうろくで餅焼きやれよ。おんだはなあ、早く鎮守様におめえり行くだぞう。」

おそねえ||おそなえ。鏡餅

かざっちやいよ||かざりなさい

おんだ||自分

おめえり||お参り

おつかあ「おーい。おげえできたそー。餅とけねえうちにな、早く食つちやうべえや。神様によ、あにい、あげちやえよう。」

こおきなさい

おい||霜除け用のよしす囲い
おげえ||おかゆ

藏開き・一鉢・お日待



下谷では一月十一日に、新年に初

めて藏を開く「藏開き」と、「ひとくわ、さつくりこ……」と唱えながら田に初めて鍬をいれる「一鉢」という行事が行われます。

それと同時に、「お日待」といって数えの十五歳になるお祝いの日であります。

ちゃん「今日はよう、あにい、藏開きたからよ。あきのかたはよう、

来なさい

塩と生ぐさ(するめなど海の幸)と、

仲間にへえるだぞ。仲間にへれば、

ちゃんと村のいちにんめえとして、

おめえのこと、代理に出せるように

なんだよ。」

あにい「今日から、おれだつてよ、いちにんめえの男だよ。だけどよう、世話人のあにきらに、いちゃんち中、買物、飯炊き、お酌で、くたくたなほど使われつちまうんだよ。だけど

あにい「今日からはよ、いちにんめえで扱つてくれんもんなあ。」

あきのかた||「恵方」のこと 年

いつつぐれえ||五鉢ぐらい

まんのう||万能。田畠の荒起こしに使用される鍬

おそねえしてこおよ||お供えして

来なさい

おめえ||おまえ

今年は辰巳の方だよ。米洗つてな、塩と生ぐさ(するめなど海の幸)と、仲持つてよ、田をいつづぐれえ、まんのうで起こしてよ、そこによ、おそねえしてこおよ。おめえの朝の仕事だよ。それ終わつたらなあ、雑煮食つてよ、八時までに鎮守様にな、出てけよ。今日はなあ、おめえは十五になつたんべ。村のわけしらの仲間にへえるだぞ。仲間にへれば、ちゃんとも村のいちにんめえとして、おめえのこと、代理に出せるようになんだよ。」

あにい「ウツルってむずかしいなあ。」

ちゃんと昔の人はな、へたな人とやるんなら、柳の木の方がましだつて、ゆつたからな。おつかあ、堀の中にへえつて、ウツルのしり、おつかせよ。」

あにい「おれも中へ、へえるかなあ。鮒を先に玉網でとつちやうから。やうよう。」

おつかあ「なげえ棒もつてこいよ。鮒はふけい所にいるからな。かつぱきだすんだよ。」

ちゃんと早くあがれよ。ばあがせといふるたてであるから、へえつちやえよ。鮒は串に刺して焼いて、弁慶に入れて堀にいれとけよ。」

かづいで||かついで

ウツル||桶にひもをつけて、二人

荷様

わけしら||若衆

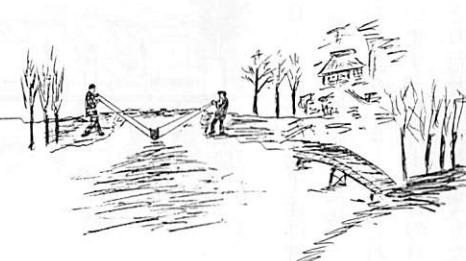
へえれば||はいれば

いちにんめえ||一人前

いちんち中||一日中

使われつちまう||使われてしまつ

堀汲み



一月十三日には、「堀汲み」といって個人所有の池や堀を一年に一回汲みだします。その時に、鮒や鰯を取り、藪入りの時のごちそうや、土産にするために、昆布巻や甘露煮にして保存しました。

ちゃんと今日は堀くむべえ。風も屋くえれば、おさまるべえ。」

年女寄(あにいに)「おつかあは堀の廻りの草や、葭刈つてあるよ。」

ちゃんと水車がづいで出かけたから、

ウツルと魚とるザルと泥ハライ持つてけよなあー。」

ちゃんとこのへドロ、くんじやねえと、来年魚へえんなくなつちやうよ。おめえも、ウツルくんでみろよなあ。」

あにい「ウツルってむずかしいなあ。」

ちゃんと昔の人はな、へたな人とやるんなら、柳の木の方がましだつて、ゆつたからな。おつかあ、堀の中にへえつて、ウツルのしり、おつかせよ。」

あにい「おれも中へ、へえるかなあ。鮒を先に玉網でとつちやうから。やうよう。」

ちゃんと早くあがれよ。ばあがせといふるたてであるから、へえつちやえよ。鮒は串に刺して焼いて、弁慶に入れて堀にいれとけよ。」

かづいで||かついで

ウツル||桶にひもをつけて、二人

一組で水やヘドロなどくみ出す道具

おつべせ＝押せ

なげえ＝ながい

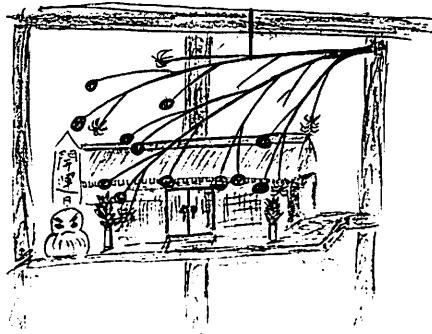
かっぱきだす＝かきだす

ばあ＝おばあさん

せいある＝おふろ、据風呂

弁慶＝魚の串などさす、わらを束ねたもの

蘭玉



て、さみいなあ。」

ちゃん「そんなことゆつてたらな

あ、仕事になんめえよ。早くやつち

やいよ。終わつたら、めえだまあげ

る柳、取つてこいよ。あしたはよ、若

餅ついてあげるから。それとな、柿

餅とあられもついやうべよなあ。」

あにい「そんないつべき、つく

のかよ。たいへんだなあー。」

おつかあ「早くおきろよ。餅ふけ

ちゃつたよう。今日は二俵もつくだ

べよなあ。のそのそしねえで、仕度

しろよう。」

ちゃん「あきねえうちに、めえだ

ま、さきにこせぢやうべえよ。」

あにい「うまくできねえな。」

ちゃん「あんまり粉つけすぎだよ。

手早くしねえとかたまつぢやうべよ。」

おつかあ「あーあ。やつとつき終

わつたよ。くたびれたなあ。菜つぱ

のこうじで、お茶でものむべえ。」

ちゃん「めえだまあげてしまふべ

え。たかだなは餅が十二個、花は五

個だよ。他は三個で花は一個ずつ。

ぼいておけよなあ。あにい。」

ついくて＝強くて

さみい＝寒い

あにい「朝っぱらから西風づいく

なんめえよ＝なんないよ

めえだま＝まゆ玉

いつべき＝いっぱい

こせぢやうべえよ＝こさえてしま

おうよ

つけすげだよ＝つけすぎだよ。

たかだな＝神棚

おぼいて＝おぼえて

御籠

おつかあ「ひっさき錫皿に入れて、

でい所にあるよ。今日はなんにもねえから、これでよかんべえ。皿、忘れねえようになあ。」

わらねな＝笑つぢやうな

堀っこ＝小さな川、堀割

おつかちぢやねえようになおちな

いように氣をつけて

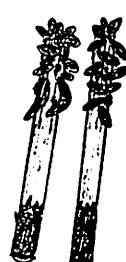
ひっさき錫＝錫を焼いて裂いたも

の

でい所＝台所

よかんべえ＝よいだろう

小豆粥



それとなあ、村の月の行事やらいろ

んな相談をするんだよ。」

あにい「そつか、心経あげるなんか。

わらねなれ、苦手だよ。」

おつかあ「今夜は、さみから、風

邪引かねえようにしてら着ていった方がいいよ。闇夜だから堀っこに、

おつかあ「ひっさき錫皿に入れて、

おつかあ「ひっさき錫皿に入れて、

でい所にあるよ。今日はなんにもねえから、これでよかんべえ。皿、忘れねえようになあ。」

わらねな＝笑つぢやうな

堀っこ＝小さな川、堀割

おつかちぢやねえようになおちな

いように氣をつけて

ひっさき錫＝錫を焼いて裂いたも

の

でい所＝台所

よかんべえ＝よいだろう

の月の行事の相談をしました。これ

を御籠といいます。毎月十四日の日

にきまつてとり行われた行事でした。

あにい「今夜は御籠だなあ。ちや

ん、御籠ってなにすんだあ。」

ちゃん「御籠ってのはなあ、昔か

らずうつと続いている行事でなあ、

鎮守様に氏子達が集まり、般若心経唱え、村内、家内安全を祈んだよ。

下谷の各家々では、一月十五日の日には前年秋とれた小豆を使って小

豆粥を作り、仏壇などに供えました。

この時使う箸は川柳で作ります。柳の枝に小豆粥がつきやすいように、先端を四つに割り、さらにギザギザをつけました。そして箸に小豆粥をつけた形で一膳ずつ供えました。その後、氏子一同が神社に集まり小豆粥を奉獻しました。

十六日前後は戸入りで、休養日で

した。嫁、奉公人などが実家に帰ります。迎え入れる家では、精一杯のご馳走を用意して待ちます。鏡餅をくずしたもの餡で煮た、ぜんざいはそのご馳走のひとつでした。

おつかあ「今日は小豆粥だから、作っておいた柳の箸にお粥つけてあげろよ、あにい。」
あにい「どことどこにあげんのかあ。」

おつかあ「門松とった所と、神棚、仏様、荒神様、稻荷様、井戸にもなあ。」

あにい「すいぶん、いつべえあんだなあ。」
ちゃん「今日は、うちから出た人、子供いっぺん連れて来るからな、賑やかだなあ。」

ちゃん「下谷で育った人は、川魚好きだからなあ。特に野々下のおか

あは鮓の煮たの好きだんべえ。だけえ鮓いっぺえくわせてやんべえな。」

男年寄「昔の人はな、よく話してたよ。次郎兵衛殿のちゃんが下谷で初めて鮓くつた人だつて。遠くからどんな人が食ったか見に来たつて話、残つているよ。鮓くうようになつたのも、あんまり昔の事じやねえようだ。」

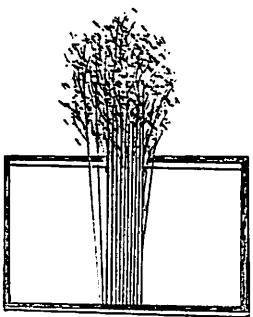
いつべえあんだなあ＝たくさんあるんだなあ

好きだんべえ＝好きだからな
だけえ＝大きい

くわせてやんべえな＝食べさせて
あげよう

次郎兵衛殿＝屋号

稻の花・恵比寿講



天神講



一月二十五日は天神様の日で、この日に天神講を行う地区が多いよう

です。天神様の祭神は菅原道真で、学問の神様として信仰されるようになりました。天神講は子供達の講で六年生が長となり神社に一晩泊まって楽しく過しました。この日は笹竹に二十五個の団子をつけ神様に供えました。

あにい「今日は坂川全部氷張りつめてるよ。少しあつたかくなんねえと、舟動かねえな。玉網でかついて取るよ。さみから鮒だつて動けねえから、取るのは楽だよ。」
ばかっさみなあ＝ひどく寒いなあ
ぐれえ＝ぐらい

かけ鮒二枚とつてこいよ。」
あにい「今日は門松とった所と、神棚、仏様、荒神様、稻荷様、井戸にもなあ。」
おつかあ「今年は天神講の宿だから、お宮に早くいって、お参りの人には御神酒を出さなくっちゃ。雪になりそうだ。」

おつかあ「今年は天神講の宿だから、お宮に早くいって、お参りの人には御神酒を出さなくっちゃ。雪になりそうだ。」
女年寄「風邪ひかねえように綿入れ着ていけよ。」

ちゃん「あられ降ってきたな。しんこ餅ついちやべ。」
女年寄「もち草少し摘んであつかう、草もちつくべよ。初物だよ。今草つみみたいへんだつたよ。くこの

一月二十日の朝は、稻の花の行事があります。豊作を祈つて、みご（稻くう漁法）

の穂のしん）に米の粉をつけて、神棚、仏壇に供えます。又、夜には恵比寿講があります。一年間元気に働けることを願つて、恵比寿様と大黒様にごちそうを供えます。ここ下谷では生きた鮒二匹と金錢を入れた一升瓶とを高脚のお膳にのせて供えました。この鮒は翌日には放流したそうです。

ちゃん「けさは、ばかりさみなあ。
大寒だからさみ時はさみかねえと米とれねえからなあ。」
あにい「稻の花はみこ一尺ぐれえに切つて、そろえて水につけて、米の粉くつければいいだんべ。それで、門松立てた所と神様にあればいかんべ。」
ちゃん「今夜は恵比寿講だから、かけ鮒二枚とつてこいよ。」
あにい「今日は門松とった所と、神棚、仏様、荒神様、稻荷様、井戸にもなあ。」
おつかあ「今年は天神講の宿だから、お宮に早くいって、お参りの人には御神酒を出さなくっちゃ。雪になりそうだ。」

茂みの中は少し伸びていたからな。」

ちゃん「今草もちは、うめえか
らな。」

あにい「おれが天神様にあげにい
くのか。さみいな。」

女年寄「笹に二十五団子くつつけ
るんだよ。おつことさねえように行
つてこいよ。それから、ちやのこに
すべよ。」

すべよ。」

ちゃん「あれ、^{*}二郷半のおとつち
やんだよ。さみいところ、わざわざ
すいませんね。」

二郷半のおとう「やー。今日こねえ
と年始参り終わっちゃうからよ。こ
んな日はよ、下谷の方は雁^{アヒル}がおり
からな。鉄砲もって来たんだよ。」

ちゃん「こんな日はよ、よく^{*}差向^{さこう}
中に雁がおりるもんな。鉄砲ぶちは、
ちゃんとねらっていんだなあ。」

天神講の宿^{ハシマツ}||小学上級生の家が当
番になる

ちゃんのこにすべよ||朝ご飯にしよ
うよ

二郷半^{ハシマツ}||二郷半領、現在の埼玉県
吉川町、三郷市あたり。二合半とも
いわれた

差向中^{ハシマツ}||現在の新松戸三丁目^{ハシマツ}五
丁目のまん中あたり

鉄砲ぶち^{ハサミ}||鉄砲をうつ人

疱瘡日待

えたものだなあ。嫁っ子もうと仲
間入りさせて、村の習慣しこむのは、
よかんべえ。」

女年寄「今年の代参人はどこんち
だ。」

おつかあ「今年は、^{*}上の家、下
の家だよ。あの二人は仲がいいから、
よかんべえ。」

女年寄「あまり気の合わねえ人と
当たると大変だったよ。昔は歩きだ
から、真間までは三時間はかかるべ
く行事が行われました。昔は流行病
として恐れられていた疱瘡(天然痘)
を追い払い、軽くすむことを祈る形
をとつていたので、疱瘡日待といわ
れました。」

この日は東福寺の住職にお経をあ
げてもらい、小豆飯を炊いて神様に
供え、代参人が市川にある真間の手
児奈堂(安産、子育ての神)へお参
りに行きました。

ていったんだ。」

おつかあ「どうして東福寺の坊さ
ん呼ぶのかなあ。」

女年寄「昔からずうっとだから、
わかんねえなあ。」

あねさまら^{ハシマツ}||若奥さん達・嫁
なんぞ^{ハシマツ}||悪口・かげぐち
どいつて、^{*}ませめしくって、^{*}むさば
らしする日だんべえ。たまにはよか
んべえ。」

年寄りなんぞ^{ハシマツ}||年寄りの悪口・か
げぐち
年寄りなんぞ^{ハシマツ}||年寄りの悪口・か
げぐち

おつかあ「そんなこといったって
年寄りなんぞなんか、しゃべる人はい
つもきまつたねえさんしかいねえよ。」

男年寄「昔の人は、うめえこと考
だらう

かしんぼく^{ハシマツ}||痘痕・あばた

節 分



節分とは季節の分かれめという意

味ですが、一般には立春の前日を指
します。古くは立春を一年の始まり
とした為、大晦日としての性格もあ
ったのでしょう。鬼打豆をまいて鬼
を追い払うなど邪氣を防ぐための行
事です。

家中へ悪い物が入つてこないよ
う、豆がらに干鰯の頭をさし、格^{ひらき}
をしばつて魔除けを作り、戸口へさ
しました。その後、神様にそなえた
豆をまきました。

男年寄「今日は節分だな。日の入
りも少し長くなつたみていいだなあ。」

あにい、豆がらに目刺の頭をさして、
柊くつづけて飾つちやいよ。^{*}とぼく
ちと、たかだなど、稻荷様と馬頭観
音にあげるんだよ。」

女年寄「今日もしごれで、うつさ
みい日だな。豆まきの頃はいつも天
気わりかんべえ。^{*}はつんまの早い年

は火のまわりも早いってから、火の用心しなくっちゃ。めいねん分家の人も稻荷様に豆まきに来てくれるから、御神酒用意してあつかなあ。」

ちゃん「おれは、お寺の豆まきだ。お寺はめいねん、派手になって錢かかるようになつたなあ。」

おっかあ「あにいが鎮守様の豆まきにいけな。枠に豆へえつてるよ。柊、目刺は紙にくるんであるよ。ひつき鰯も皿にへえつてるから、それでいかんべえ。」

とぼくち戸口
うつさみい薄寒い
わりかんべえ悪いだろう

祭日とする所が多い
めいねんまいねん
へえつてる入つている
いかんべえいいだらう

初午祭



二月の最初の午の日に行われる行

事です。京都の伏見稻荷神社の神が降りた日がこの日だったからといわれます。全国で稻荷神社を祀ります。

屋敷神として祀つてあるお稻荷様にのぼりをたて、油揚げ、赤飯、海・山の幸を御膳として供えます。

古くは神社総代が皆集まつてお祈りをし、来年の当番への引き継ぎ、御当の引き渡し式をすませた後、当番の家で直会をしました。宿にあたる人は、初午の前に宮堀（お宮が特別に所有していた堀）をさらつて鮒、鰯、鰻、ギンギョッパチ等をとつて駆走をそろえました。昭和に入つてからは簡素化されて一家の主人だけが神社に集まつてとり行うようになりました。

女年寄「今日は初午だなあ。午の日が早い年は火の廻りがはやいってゆつてたかんに、火事には気をつけなくちゃあ。」

おっかあ「今年は宿だから大変だよ。早くちやのこくちやねえと、近所の人のがきしゃうよ。」

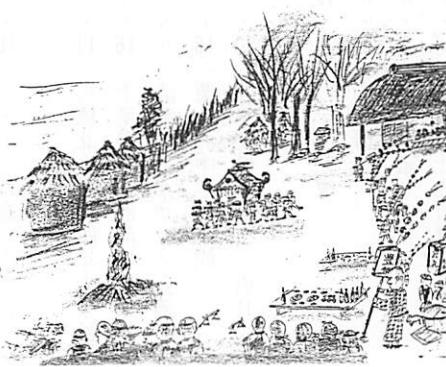
ちゃん「うちの稻荷様にも、のぼりと御膳あげ早くやっちやうべなあ。」

おっかあ「あらい米と野菜は作つてあるよ。御神酒をあげてなあ。」

ゆつてたかんに言つていたから

くつちやねえと食べてしまわないと
きしやうよ來てしまうよ

大杉祭



赤飯、煮しめ、酒、甘酒などが振舞われます。また見物人も近郷近在からたくさん集まり、賑やかなお祭りだつたそうです。

おっかあ「餅ふけたよ。早くつかねえと草餅はひまとれるからよ。中根のばつちゃんちへ、お宮に行くめえに届けてくれよ、あにい。」

あにい「おれ、初めて御輿かづぐんだべ。肩はれちやうべえな。」

ちゃん「はれてから強くなるだよ。」

この村の御輿は火の中へえつて、かつらかして火消える迄、もむだなあ、昔の人は、もつとあばれただよ。」

あにい「火よりぼっち、ぶっくれげえされたり、戸袋ぶんぬかれたりする家は、きまつてえべ。だから、えばつたり、するがしこい事しちゃいけねえだよ。」

あにい「うめえ事やるなあ、御輿のせえにしちやつて。後始末は頭がしてくれるから、おれ達に関係ねえや。」

ひまとれる時間がかかる

かつらかすかきまわす
ぼっち家の形にわらを積みあげて干してあるもの

御輿をかつぐ若衆連には、草餅、

ぶっくれげえす倒す

日誌抄

平成六年

1・7	全体会議
2・26	ビデオ企画検討会
2・2	新松戸西小学校三年生来館
2・2	旭町小学校三年生来館
2・2	馬橋北小学校三年生来館
2・9	馬橋北小学校三年生来館
2・18	下妻市教育委員会来館
2・23	横須賀小学校三年生来館
3・1	全体会議
3・2	TBSテレビ取材協力
3・2	館長講演（矢切市民会館）
3・2	千葉テレビ取材協力
3・2	明治時代の教育年表展示
3・2	理事会
3・2	研修（水戸道をたずねて）
3・2	シナリオ会議
5・1	新松戸南小学校三年生来館
5・1	全体会議
5・1	研修（森のホール）
5・1	松戸市社会教育課来館
5・1	幸谷小学校三年生来館
5・1	松戸市社会教育課来館
5・1	理事会

6・1	研修（松戸市立博物館）
6・3	ビデオ制作会議
6・5	研修（流山文化会館）
6・5	「川をきれいにする推進本部」行事に協力
6・7	「親子が川で集うイベント」に協力
6・7	研修（先進地視察）
6・7	研修（松戸市立博物館）
6・7	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・7	松戸市役所、マレーシアより視察
6・7	松戸市文化ホール行事に協力
6・8	ビデオ撮影
6・8	第11回子供歴史教室開催
6・8	ビデオ撮影
6・9	松戸市教育長、学芸員来館
6・9	全体会議
6・10	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・10	松戸市文化ホール行事に協力
6・10	ビデオ撮影
6・11	第11回子供歴史教室開催
6・11	ビデオ撮影
6・12	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・12	松戸市文化ホール行事に協力
6・12	ビデオ撮影
6・13	第11回子供歴史教室開催
6・13	ビデオ撮影
6・14	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・14	松戸市文化ホール行事に協力
6・14	ビデオ撮影
6・15	第11回子供歴史教室開催
6・15	ビデオ撮影
6・16	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・16	松戸市文化ホール行事に協力
6・16	ビデオ撮影
6・17	第11回子供歴史教室開催
6・17	ビデオ撮影
6・18	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・18	松戸市文化ホール行事に協力
6・18	ビデオ撮影
6・19	第11回子供歴史教室開催
6・19	ビデオ撮影
6・20	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・20	松戸市文化ホール行事に協力
6・20	ビデオ撮影
6・21	第11回子供歴史教室開催
6・21	ビデオ撮影
6・22	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・22	松戸市文化ホール行事に協力
6・22	ビデオ撮影
6・23	第11回子供歴史教室開催
6・23	ビデオ撮影
6・24	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・24	松戸市文化ホール行事に協力
6・24	ビデオ撮影
6・25	第11回子供歴史教室開催
6・25	ビデオ撮影
6・26	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・26	松戸市文化ホール行事に協力
6・26	ビデオ撮影
6・27	第11回子供歴史教室開催
6・27	ビデオ撮影
6・28	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・28	松戸市文化ホール行事に協力
6・28	ビデオ撮影
6・29	第11回子供歴史教室開催
6・29	ビデオ撮影
6・30	古ヶ崎浄化施設通水式出席
6・30	松戸市文化ホール行事に協力
6・30	ビデオ撮影
7・1	第11回子供歴史教室開催
7・1	ビデオ撮影
7・2	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・2	松戸市文化ホール行事に協力
7・2	ビデオ撮影
7・3	第11回子供歴史教室開催
7・3	ビデオ撮影
7・4	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・4	松戸市文化ホール行事に協力
7・4	ビデオ撮影
7・5	第11回子供歴史教室開催
7・5	ビデオ撮影
7・6	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・6	松戸市文化ホール行事に協力
7・6	ビデオ撮影
7・7	第11回子供歴史教室開催
7・7	ビデオ撮影
7・8	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・8	松戸市文化ホール行事に協力
7・8	ビデオ撮影
7・9	第11回子供歴史教室開催
7・9	ビデオ撮影
7・10	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・10	松戸市文化ホール行事に協力
7・10	ビデオ撮影
7・11	第11回子供歴史教室開催
7・11	ビデオ撮影
7・12	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・12	松戸市文化ホール行事に協力
7・12	ビデオ撮影
7・13	第11回子供歴史教室開催
7・13	ビデオ撮影
7・14	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・14	松戸市文化ホール行事に協力
7・14	ビデオ撮影
7・15	第11回子供歴史教室開催
7・15	ビデオ撮影
7・16	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・16	松戸市文化ホール行事に協力
7・16	ビデオ撮影
7・17	第11回子供歴史教室開催
7・17	ビデオ撮影
7・18	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・18	松戸市文化ホール行事に協力
7・18	ビデオ撮影
7・19	第11回子供歴史教室開催
7・19	ビデオ撮影
7・20	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・20	松戸市文化ホール行事に協力
7・20	ビデオ撮影
7・21	第11回子供歴史教室開催
7・21	ビデオ撮影
7・22	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・22	松戸市文化ホール行事に協力
7・22	ビデオ撮影
7・23	第11回子供歴史教室開催
7・23	ビデオ撮影
7・24	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・24	松戸市文化ホール行事に協力
7・24	ビデオ撮影
7・25	第11回子供歴史教室開催
7・25	ビデオ撮影
7・26	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・26	松戸市文化ホール行事に協力
7・26	ビデオ撮影
7・27	第11回子供歴史教室開催
7・27	ビデオ撮影
7・28	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・28	松戸市文化ホール行事に協力
7・28	ビデオ撮影
7・29	第11回子供歴史教室開催
7・29	ビデオ撮影
7・30	古ヶ崎浄化施設通水式出席
7・30	松戸市文化ホール行事に協力
7・30	ビデオ撮影
8・1	第11回子供歴史教室開催
8・1	ビデオ撮影
8・2	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・2	松戸市文化ホール行事に協力
8・2	ビデオ撮影
8・3	第11回子供歴史教室開催
8・3	ビデオ撮影
8・4	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・4	松戸市文化ホール行事に協力
8・4	ビデオ撮影
8・5	第11回子供歴史教室開催
8・5	ビデオ撮影
8・6	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・6	松戸市文化ホール行事に協力
8・6	ビデオ撮影
8・7	第11回子供歴史教室開催
8・7	ビデオ撮影
8・8	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・8	松戸市文化ホール行事に協力
8・8	ビデオ撮影
8・9	第11回子供歴史教室開催
8・9	ビデオ撮影
8・10	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・10	松戸市文化ホール行事に協力
8・10	ビデオ撮影
8・11	第11回子供歴史教室開催
8・11	ビデオ撮影
8・12	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・12	松戸市文化ホール行事に協力
8・12	ビデオ撮影
8・13	第11回子供歴史教室開催
8・13	ビデオ撮影
8・14	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・14	松戸市文化ホール行事に協力
8・14	ビデオ撮影
8・15	第11回子供歴史教室開催
8・15	ビデオ撮影
8・16	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・16	松戸市文化ホール行事に協力
8・16	ビデオ撮影
8・17	第11回子供歴史教室開催
8・17	ビデオ撮影
8・18	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・18	松戸市文化ホール行事に協力
8・18	ビデオ撮影
8・19	第11回子供歴史教室開催
8・19	ビデオ撮影
8・20	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・20	松戸市文化ホール行事に協力
8・20	ビデオ撮影
8・21	第11回子供歴史教室開催
8・21	ビデオ撮影
8・22	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・22	松戸市文化ホール行事に協力
8・22	ビデオ撮影
8・23	第11回子供歴史教室開催
8・23	ビデオ撮影
8・24	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・24	松戸市文化ホール行事に協力
8・24	ビデオ撮影
8・25	第11回子供歴史教室開催
8・25	ビデオ撮影
8・26	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・26	松戸市文化ホール行事に協力
8・26	ビデオ撮影
8・27	第11回子供歴史教室開催
8・27	ビデオ撮影
8・28	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・28	松戸市文化ホール行事に協力
8・28	ビデオ撮影
8・29	第11回子供歴史教室開催
8・29	ビデオ撮影
8・30	古ヶ崎浄化施設通水式出席
8・30	松戸市文化ホール行事に協力
8・30	ビデオ撮影
8・31	第11回子供歴史教室開催
8・31	ビデオ撮影
9・1	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・1	松戸市文化ホール行事に協力
9・1	ビデオ撮影
9・2	第11回子供歴史教室開催
9・2	ビデオ撮影
9・3	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・3	松戸市文化ホール行事に協力
9・3	ビデオ撮影
9・4	第11回子供歴史教室開催
9・4	ビデオ撮影
9・5	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・5	松戸市文化ホール行事に協力
9・5	ビデオ撮影
9・6	第11回子供歴史教室開催
9・6	ビデオ撮影
9・7	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・7	松戸市文化ホール行事に協力
9・7	ビデオ撮影
9・8	第11回子供歴史教室開催
9・8	ビデオ撮影
9・9	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・9	松戸市文化ホール行事に協力
9・9	ビデオ撮影
9・10	第11回子供歴史教室開催
9・10	ビデオ撮影
9・11	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・11	松戸市文化ホール行事に協力
9・11	ビデオ撮影
9・12	第11回子供歴史教室開催
9・12	ビデオ撮影
9・13	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・13	松戸市文化ホール行事に協力
9・13	ビデオ撮影
9・14	第11回子供歴史教室開催
9・14	ビデオ撮影
9・15	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・15	松戸市文化ホール行事に協力
9・15	ビデオ撮影
9・16	第11回子供歴史教室開催
9・16	ビデオ撮影
9・17	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・17	松戸市文化ホール行事に協力
9・17	ビデオ撮影
9・18	第11回子供歴史教室開催
9・18	ビデオ撮影
9・19	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・19	松戸市文化ホール行事に協力
9・19	ビデオ撮影
9・20	第11回子供歴史教室開催
9・20	ビデオ撮影
9・21	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・21	松戸市文化ホール行事に協力
9・21	ビデオ撮影
9・22	第11回子供歴史教室開催
9・22	ビデオ撮影
9・23	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・23	松戸市文化ホール行事に協力
9・23	ビデオ撮影
9・24	第11回子供歴史教室開催
9・24	ビデオ撮影
9・25	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・25	松戸市文化ホール行事に協力
9・25	ビデオ撮影
9・26	第11回子供歴史教室開催
9・26	ビデオ撮影
9・27	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・27	松戸市文化ホール行事に協力
9・27	ビデオ撮影
9・28	第11回子供歴史教室開催
9・28	ビデオ撮影
9・29	古ヶ崎浄化施設通水式出席
9・29	松戸市文化ホール行事に協力
9・29	ビデオ撮影
9・30	第11回子供歴史教室開催
9・30	ビデオ撮影
10・1	古ヶ崎浄化施設通水式出席
10・1	松戸市文化ホール行事に協力
10・1	ビデオ撮影
10・2	第11回子供歴史教室開催
10・2	ビデオ撮影
10・3	古ヶ崎浄化施設通水式出席
10・3	松戸市文化ホール行事に協力
10・3	ビデオ撮影
10・4	第11回子供歴史教室開催
10・4	ビデオ撮影
10・5	古ヶ崎浄化施設通水式出席
10・5	松戸市文化ホール行事に協力
10・5	ビデオ撮影
10・6	第11回子供歴史教室開催
10・6	ビデオ撮影
10・7	古ヶ崎浄化施設通水式出席
10・7	松戸市文化ホール行事に協力
10・7	ビデオ撮影
10・8	第11回子供歴史教室開催
10・8	ビデオ撮影

△資料館利用のご案内△

△開館日 毎週水曜～日曜日

△時間 10時～16時（ただし、入館は15時30分迄）

△料金 無料

△所在地 新松戸市民センター3階

△電話 04-1909

△電話 04-1909

△料金 無料

△所在地 新松戸郷土資料館

△電話 04-1909

△料金 無料

△所在地 中央公園

編集後記

方言を集めることは、案外厄介なことが出てくる。こんなエピソードがあった。「村の年配の方達が集まるようになると、方言を少し集めたいので」とある方へ連絡を入れた。その方にわく「自分の地域はもう方言で話す人はいない」と答えた。銀河しかったのか残念なのが、方言で話されていた。

